

第5回 綾部市

地域のための福知山公立大学に期待するもの ～福知山公立大学を使いこなすために～

……福知山公立大学開学記念連続講演会 **in** 綾部市……

基調
講演

田園回帰の時代 ～未来の希望を求めて～

講師

小田切徳美氏 (明治大学農学部 教授)

入場料無料
定員200名

11月26日(土) 13:30～16:00 (受付開始 13:00)

小田切徳美

Tokumi Odagiri

明治大学農学部 教授

プロフィール

1959年生まれ。東京大学農学部卒業。同大学院博士課程単位取得退学。
博士(農学) 東京大学。東京大学農学部助手、高崎経済大学経済学部助教授、
東京大学大学院助教授を経て、2006年より明治大学農学部教授。

2011年より明治大学農山村政策研究所代表。

【公職】日本学術会議会員、ふるさとづくり有識者会議座長(内閣官房)、
地域の課題解決のための地域運営組織に関する有識者会議座長(内閣官房)、
国土審議会委員(国交省)、食料・農業・農村政策審議会委員(農水省)、
過疎問題懇談会委員(総務省)、今後の農林漁業・農山漁村のあり方に関する
研究会座長(全国町村会)等を兼任。

【著書】『まちづくり読本』(共著・ぎょうせい)、『地域再生のフロンティア』(編著・農文協)、
『農山村再生に挑む』(編著、岩波書店)、『農山村は消滅しない』(岩波新書)など多数。



福知山公立大学開学記念 パネルディスカッション

パネリスト 小田切徳美氏



コーディネーター
塩見直紀
福知山公立大学 准教授

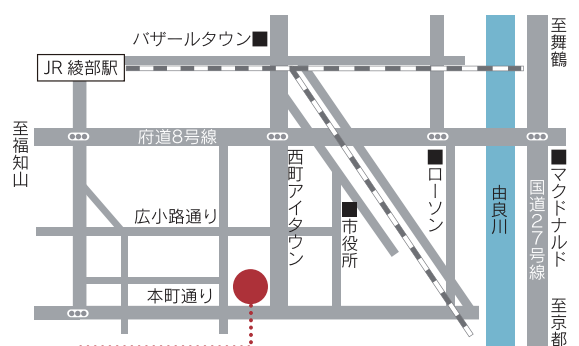


平田佳宏氏
あやべ市民新聞社
経営企画室長



工忠衣里子氏
くもろう
「里山ゲストハウス
クチコール」女将

塩見直紀 プロフィール
1965年、京都府綾部市生まれ、綾部市在住
大学では日本古代史(奈良平安時代の政治)を学ぶ
10年間、株式会社フェリシモに在籍(人材教育、ソーシャルデザインルームなど)
33歳を機に、故郷・綾部へリターン。2000年、『半農半X研究所』を設立
21世紀の生き方、暮らし方として、半農半X(エックス=天職)というコンセプトを20年前から提唱
NPO法人 里山ねっと・あやべのスタッフとして綾部里山交流大学、定住支援、農家民泊、
情報発信を担当
著書に『半農半Xという生き方』(決定版)『綾部発 半農半Xな人生の歩き方88』など、
台湾、中国、韓国でも翻訳され出版、海外講演も
総務省地域力創造アドバイザー



会場 I・Tビル 多目的ホール
京都府綾部市西町一丁目49-1

お問合せ

福知山公立大学 北近畿地域連携センター

0773-24-7151 〒620-0886 京都府福知山市字堀 3370

FAX.0773-24-7170 mail:regional@fukuchiyama.ac.jp

■共催／福知山公立大学・綾部市・京都府北部地域連携都市圏推進協議会

■後援／京都府



開学記念連続講演会（綾部市）

田園回帰の時代

～未来の希望を求めて～

日時：平成28年11月26日

場所：I・Tビル 多目的ホール

講演（要約）

○小田切氏 皆さん、こんにちは。明治大学の小田切と申します。農村政策を研究しております。

1. 田園回帰

演題の「田園回帰」という言葉は、「食料・農業・農村白書」などで使われ、いまや政府公認の言葉になっています。内閣府の世論調査によると、都市に住む20代の男性の約半分にあたる47.4%が、「将来、農山漁村に住みたい」と言っています。女性の意識もここ10年で随分変わってきています。「子育てに適しているのは農山漁村か都市か」といった設問に対して、農山漁村で子どもを育てたいと答える比率は、女性のほうが高いんです。

5年前から、全国の農山村移住者数をNHK、毎日新聞、それに明治大学の私の研究室とで調査をしていますが、2009年には3,000人程度だったものが、今は4倍増の1万2,000人になっています。5年後には、2～3万になるのではないかと思います。ただ、この傾向には地域差があります。2014年のトップ5は、岡山、鳥取、長野、島根、岐阜で、この5県だけで全国の移住者数の約5割を占めています。京都府は40人で、うち23人が綾部でした。

移住者は、20代、30代のファミリー世代が増えている傾向があって、これが必然的に女性の割合を増やしています。そして、主役はIターン者、都会から入ってく

る人です。鳥取県のケースを見ると、Iターンが増えた地域でUターンもふえるという連鎖関係が見られます。Iターン者の方が発信する田舎暮らしのブログとかツイッターに触発されて、都会に出ていた人が地元に戻ってくるといったケースです。

そしてこの延長線上に出てきているのが、「孫ターン」です。好例が、NHKの朝ドラ「あまちゃん」のアキちゃんです。アキちゃんは、東京生まれで、そのお母さんの小泉今日子さんは、岩手の三陸海岸生まれ、田舎が嫌で飛び出したが、その娘のアキちゃんは、自分がやりたいのは、おばあちゃんがやっている海女さんなんだと言って、三陸海岸に入ってきた。まさに孫ターンですが、こういった傾向が決して少ないんです。たまたま私の友人が山口県周防島というまちにいたので、調べてもらったら、十数%が孫ターンでした。出ていった息子や娘は諦めざるを得ないかもしれませんが、孫は帰ってくる可能性があるんです。

福知山公立大学の塩見先生が唱えられた「半農半X」という考え方が、日本国内だけではなく、台湾、中国、韓国などを席卷していますが、実は移住者の中にこういったライフスタイルを求めている方も少なくありません。例えば、新潟県の十日町のKさん。彼は、地域おこし協力隊を終えた後、地域のNPOに勤めましたが、地元のおじいちゃん、おばあちゃんたちが自給菜園的に作る野菜を集めて、東京のこだわりレストランに提供する仕事を立ち上げたり、各公民館で健康体操の講座が賑わっているのに着眼して、健康体操のインストラクターの資格を取得、講師をして稼いだりしているんです。

2. 移住・定住に対する意識の変化

「むらは閉鎖的だ」、「空き家など流動化しない」、「仕事がないから人は来ない」というのが、移住対策のハードルだといわれてきました。しかし、このハードルは、明らかに低くなっています。移住する側では、むらの濃密な人間関係が温かいと言いだした若者たちがいます。移住する前に移住・定住の専門雑誌で、むらのルール

をしっかりと学ぶ人たちが生まれつつあります。

受け入れる側の意識も変わりつつあります。例えば、広島県三次市の青河地区では、住民たちが出資して有限会社の建設会社をつくり、空き家の補修などをしっかりやって、移住者を積極的に迎え入れています。

移住・定住は、恐らく皆様方の予想を超えた勢いで進んでいくんだと思います。それを受け入れることができるかどうかは、行政の一時金とかいうものではなく、しっかり地域磨きをすることにかかっていると思います。地域磨きとは、例えば、JAが撤退したら、地域共同売店をみんなで立ち上げるとか、生活交通が脆弱化したらコミュニティ運営の白ナンバーの特別な許可をとるといったこと。綾部市でいえば、まさに水源の里の営みを各地域の中で確実にこなしていくことが、移住者を引きつける最大のポイントになっていくのではないかと思います。

御清聴ありがとうございました。

(以上)

講演会 講師 小田切 徳美 氏



会場の様子



開学記念連続講演会（綾部市）

田園回帰の時代

～未来の希望を求めて～

日時：平成28年11月26日

場所：I・Tビル 多目的ホール

パネルディスカッション（要約）

○塩見准教授 小田切先生、御講演ありがとうございました。

私は、1999年、33歳のとき、綾部にUターンで帰ってきました。それから、私的なことで恐縮ですが、娘がこの春から明治大学農学部に進学しました。彼女が小田切先生から多くのことを学んで帰ってきて、頼もしいパートナーとなることを願っております。

本日のパネルディスカッションは、二人のパネリストと小田切先生と御一緒させていただいて進めていきます。

まず、あやべ市民新聞社経営企画室長の平田佳宏さんからお願いします。

1. パネリスト自己紹介及び綾部市への移住経緯

○平田氏 私は、香川県高松市の生まれです。大学を出てから、30年間、ずっと電通で働きました。なぜ、私が電通を辞めて綾部にやってきたかという、消費するだけの都会生活に疲れを感じたことと、食品とか薬品とか環境に関することで疑問に思うことが増えてきたからです。そんなときに塩見さんの「半農半X」という本を読み、こんな生き方もあるのかと感銘を受けて、早期退社に踏み切り、綾部に引っ越しました。田んぼと畑も手に入り、あやべ市民新聞社で週に3日働かせていただきながら、無肥料、無農薬の米と野菜を作る野良仕事にいそしんでおりまして、「半農半X」を地で行くような生活が送られているかなという感じです。

○工忠氏　　工忠衣里子と申します。綾部市の上林というところで、里山ゲストハウス・スクチュールという農家民宿を運営しております。私は大阪府の堺市の出身で、大学を出て大阪でシステムエンジニアとして8年間働いた後、この5月に移住し、主人と一緒に暮らしております。主人とは4年前に知り合いましたが、交際を始めた直後、彼の会社が倒産しましたので、彼の夢だったゲストハウスをやろうということで、2人で半年間、移住先を探し歩き、綾部温泉で主人の仕事が見つかったのを契機に綾部に移住しました。今、綾部市の市役所で嘱託職員として勤務する傍ら、ゲストハウスを経営しています。

ゲストハウスは、皆さんに手伝ってもらって古民家を改修したものです。お客様は、欧米やアジア各国に及び、ちゃんと情報を発信すれば、こんな山奥でも世界中から人が来てくださるんだなと実感しています。外国人に茅葺屋根の屋根裏を見ていただいたりしていますが、これからも地元の方との触れ合いを大切にして、コンテンツを作っていきたいと思っています。

2. 移住・定住者を惹きつける綾部市の魅力

○塩見准教授　　小田切先生、御感想をお願いします。

○小田切氏　　お二人には、共通性がありますね。1つは、生き方を見直していくということです。2番目には、綾部の魅力に引き寄せられてというものがあったと思います。そして、3番目に、非常に柔軟な、しなやかな、弾力的な生き方をされていることだと思います。特に平田さんの新聞社に3日間だけ出勤というのは、理想的な暮らし方だと思います。今、政府は働き方改革というものをやっており、単に残業を減らすだけではなく、部分就労とか、リクルートなんかは副業奨励というような動きが出てきておりますが、お二人はまさに先進的にそれを実践されているなと感じました。

○塩見准教授　　周辺にある魅力的な店とか、面白い人がいれば挙げてください。

○平田氏　　一つは、「そばの花」というお店で、その主人は、私が初めて綾部に

来たとき、いろんなことを教えてくださいました。もう一つは、農家民泊の「イワンの里」で、二つとも移住者の基地みたいに作用しているような気がします。それから、この間、うちの隣に櫛田寒平さんという半農半歌手が引っ越してこられました。

○工忠氏　上林では、「Suncha cafe（サンチャカフェ）」というカフェが、オーガニックで、ベジタリアとスイーツを作ったりとか、こだわった商品づくりをされていて、雰囲気も素晴らしく、発信力がすごいです。あとは、私たちの友人で、Uターンした女の子がオープンしているカフェ「amuamu」があります。Iターン、Uターン組が集まっているいろいろやっています。

○塩見准教授　この動きをもう少し前に進めるためには、やっぱり発信力だと思うんですけど、ほかに綾部には何が必要なんでしょうか。

○小田切氏　全国を歩いている私の立場から見ると、ほぼ全てが揃っているという感じがしないではないんですが、整理して言いますと、人が人を呼ぶという、この流れですね。実は、全国的に一番多いのは、地域コーディネーターです。24時間体制で対応してくれる地域コーディネーターの方に惚れちゃったというのが結構あるんですね。それから、もう一つは移住者の先輩です。そして、すご技を持っている地域の魅力的なじいさん、おばちゃんたちですね。こうした3種類の磁石がしっかりと機能し、さらに力を発揮することが特に必要なことだと思います。

(以上)

パネルディスカッションの様子



パネリスト（左から小田切 徳美 氏、平田 佳宏 氏、工忠 衣里子 氏）



第6回
舞鶴市

地域のための福知山公立大学に期待するもの ～福知山公立大学を使いこなすために～

……福知山公立大学開学記念連続講演会 **in** 舞鶴市……

12月11日(日) 10:00～12:00

基調
講演

クルーズ観光新時代における京都舞鶴港の可能性

講師

山口直彦氏 (商船三井客船株式会社 代表取締役社長)

入場料無料
定員330名



山口直彦

Naohiko Yamaguchi

商船三井客船株式会社 代表取締役社長

プロフィール

1981年 神戸商科大学(現兵庫県立大学) 経済学科卒業
1981年 大阪商船三井船舶(株) 入社
1991年 クルーズ船事業調査(マイアミ長期出張員)
2008年 (株) 商船三井 グループ事業部長
2011年 商船三井客船(株) 取締役
2013年 同 常務
2016年 同 代表取締役社長

【主な社外役職】

2016年～ (一社) 日本外航客船協会 会長



福知山公立大学開学記念 パネルディスカッション

パネリスト 山口直彦氏



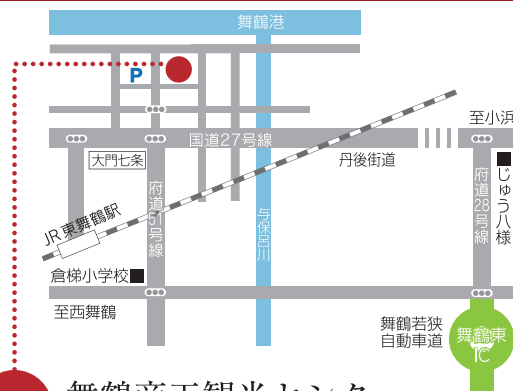
多々見良三
舞鶴市長



酒井敦史氏
京都府京都舞鶴港振興監



糸川雄介氏
コスタクルーズ日本支社
支社長



会場 舞鶴商工観光センター
京都府舞鶴市字浜66 P有り

コーディネーター
篠原正人
福知山公立大学 教授

プロフィール
1950年 京都市生まれ
1973年 大阪市立大学経済学部卒。商船三井入社 英国ロンドン、オランダ駐在を経験
2001年 オランダにて経営コンサルタント開業。エラスムス大学(オランダ) 講師兼研究員
2004年 東海大学海洋学部教授。2006年 エラスムス大学にて博士号取得
2016年 東海大学退職、福知山公立大学特任教授
学外の職務：国土交通省交通政策審議会港湾分科会委員、静岡県地方港湾審議会副会長 等
海運経済学、港湾経済学、サプライチェーンマネジメント、異文化経営学等
研究テーマ：わが国の港湾政策に関する研究。今後は舞鶴港の活性化に関する研究に着手する。
海運、港湾、物流分野における人材開発に関する研究。

お問合せ

福知山公立大学 北近畿地域連携センター

TEL 0773-24-7151 京都府福知山市字堀 3370

FAX 0773-24-7170 mail: regional@fukuchiyama.ac.jp

■共催/福知山公立大学・舞鶴市・京都府北部地域連携都市圏推進協議会

■後援/京都府・一般社団法人京都舞鶴港振興会

関西クルーズ振興協議会・京都舞鶴港クルーズ誘致協議会



開学記念連続講演会（舞鶴市）

クルーズ観光新時代における京都舞鶴港の可能性

日時：平成28年12月11日

場所：舞鶴商工観光センター

講演（要約）

○山口氏 皆さん、おはようございます。商船三井の山口です。「クルーズ観光新時代における京都舞鶴港の可能性」と題して、基調講演をさせていただきます。

1. 世界、日本におけるクルーズ産業の現状

船内での宿泊を伴うクルーズ船は、世界で300隻から400隻ぐらいあります。世界全体のクルーズ人口は、約2,300万人、クルーズ会社の売り上げが3.7兆円、付随する関連産業まで含めると産業規模は約14兆円と言われております。

世界のクルーズ人口の半分は北米で、イギリス、ドイツがそれぞれ180万人で、日本は20万人、近年中国がふえており、100万人と言われております。

クルージング企業は、かつてたくさんありましたが、今は合併してカーニバルグループなど4つか5つのグループになり、実質的にはアメリカに本社があるグローバル企業が支配しているのが実態です。

クルーズ船は、大型化が進み、16万から18万トンぐらいが主流で、大きいのは全長360メートル、22万トン級もあります。船内は、リゾートパークそのもので、テーマパークごと移動してるといったイメージです。

中にはシアターやショッピングアーケード、カジノ、複数のレストランもあって、お客様は船内でほとんど満足いただけます。一方で、今、小型の客船でアマゾンや南極に行くクルーズ船なども人気があります。

現在、日本の客船は、皆さんも御存知の「飛鳥Ⅱ」、「にっぽん丸」、「ぱしふい

つくびいなす」の3隻で、一番大きい飛鳥でも5万トンです。中型、小型級ですが、大型客船にない利点があります。例えば、いろんな港に行けることや、天候、お客様の年齢等に応じて地元名物の食材を使った船内料理を出せるといったきめ細かいサービスができることです。

2020年の東京オリンピックまでに訪日外国人は4,000万人と見込まれています。既に2,000万人を突破しましたが、500万人は船でお連れしようとの計画があり、国交省港湾局にクルーズ振興室ができて、外国の客船を受け入れるために岸壁の整備や工事をやっております。

2. クルーズ観光新時代における京都舞鶴港の可能性

日本海は、船会社の立場から見ると、非常にポテンシャルの高いクルージングエリアだと思います。歴史的に大陸との結びつきも深く、戦後になっても友好都市の提携も多く、特に舞鶴港は、昔から中心地でありました。

もう一つ、日本海の魅力としては、多様な寄港地があり、海も穏やかですし、気候も安定している。私は、舞鶴や福岡からも乗りましたが、海から見る景色が素晴らしい。このことを皆さん意外と御存知ないと思います。

船会社が寄港地を決める際には、知名度、地元の歓迎、経済的メリットのほか、どれだけの観光資源があるかを非常に重視します。舞鶴の場合、日本船にとっては、基本的には寄港地になると思います。東京や大阪、あるいは福岡のお客さんは、日本海側をクルーズする際、舞鶴に行ってみたいと言われるんです。

一般的には、1回の寄港で船客1人当たり1万円、多いところで14万円、2,000人乗りの船が来ると、約2,000万円のお金が地元に着くとおっしゃっております。

ただし、こうした経済効果だけでなく、何より大事なのは地元のおもてなしだと思います。「地元の人々と話ができた」、「観光ガイドに載ってないところに連れてい

ってもらえたことが忘れられない」といった声をお客様からも聞きます。

アメリカでは、マイアミという都市を、全米から飛行機で繋げることによって、一番いいクルーズエリアにあるカリブ海を1週間でクルーズできる。つまり、フライ・アンド・クルーズによって、クルーズ人口が、何百万人も増えました。

日本の場合はどうかというと、近年、道路網の整備が非常に進んだと聞いておりますので、京阪神、あるいは奈良県からお客様がバスや自家用車で舞鶴に来て、ここから乗船する。あるいは、関西だけでなく東京からもやってきて、舞鶴から船に乗って日本海の景観を楽しもうということになるかもしれません。

他の港から船で行くと3日目ようやく日本海に入るのが、舞鶴から乗船すると即日日本海からいい所に行ける。この辺をもっとアピールしなくてはいけないと思っております。

いずれは発着地としての舞鶴もあると思いますが、今の時点では、こういった日本海側の魅力を掘り起こして、お客様に紹介していこうと思っております。少しでも御参考になればありがたいと思います。

御清聴ありがとうございました。

(以上)

講演会 講師 山口 直彦 氏



会場の様子



開学記念連続講演会（舞鶴市）

日時：平成２８年１２月１１日

場所：舞鶴商工観光センター

パネルディスカッション（要約）

○篠原教授　皆様こんにちは。福知山公立大学の篠原です。

私の専門は、海運、港湾、物流で、舞鶴港のクルーズ船客の動向調査を研究プロジェクトにしており、夏には、舞鶴港での船客の実態調査も行いました。

本日は、商船三井客船社長の山口直彦様のお話を受けて、舞鶴市長の多々見良三様、京都府京都舞鶴港振興監の酒井敦史様、コスタクルーズ日本支社長の糸川雄介様と、先ほどお話をさせていただきました山口社長にお話を伺いたいと思います。

１．舞鶴市の取組

○多々見市長　本日は、皆様とともに舞鶴の港の可能性について議論ができますことを大変光栄に存じております。

舞鶴港は、若狭湾の深く入り組んだところに位置しており、外からの風の影響を受けず、津波にも強い良港で、１３万トン級の船でも入港できます。クルーズ船は、１９９３年に初めて初代の飛鳥が入港して以降、年に３、４回、あるいは０回という状況でしたが、２０１１年に日本海側拠点港に選定された翌々年から急速に増え、今年は１７回、来年は４０回近くが来るようになっております。

最近の試算では、今年１７回の入港による経済効果は、直接効果で１億６，０００万円、波及効果は２億６，０００万円と見ております。舞鶴でのクルーズの魅力は、何と言っても背後観光地のバリエーションの多さだと思っております。市としては、京都府と連携しながらクルーズ客船の誘致、定着、そして起点港化を目指し、国内外で積極的に誘致活動を行っております。また、町の中におきましても商店街、金融機

関、経済会、市民団体、そして高校生ボランティアまでもが一緒になって「京都舞鶴港クルーズ客船のおもてなし関係者連絡会議」を構成し、地域での消費や満足度の向上、地域の文化の紹介などに取り組んでおります。

2. 京都府の取組

○篠原教授 港湾の管理職の立場から酒井さんにお話ししたいと思います。

○酒井氏 私は、もともと国土交通省から来ておりますので、国の施策等を含めて御説明させていただきます。

日本に入ってくる船は大型化しており、1隻で4、000人以上のお客さんを乗せることが可能な16万トン級の船が既に日本に入ってきていますが、2、3年後には、5、000人超のお客さんを乗せた船も入ってくる予定になっております。日本の港は、貨物を中心として造られているため、船の大型化に伴い、現在、国交省港湾局では、貨物の港にクルーズ船も入れるようにするリニューアルを全国で進めております。

また、背後のクルーズターミナルを民間の活力も活用しながら整備するために無利子貸し付けといったものも整えているところでございます。舞鶴港は、もともとが物流の港ですので、港には多くの倉庫群が連なっていますが、中にはあまり見ばえのよくないものもあります。そうした倉庫群にペンキで装飾をし、また、京都ならではの取り組みとして、舞鶴港での和装の体験などを来年に向けて検討しているところでございます。

3. コスタクルーズ日本支社の取組

○篠原教授 次に、糸川さん、お願いします。

○糸川氏 舞鶴港には、今年10回、コスタビクトリアを入港させていただきました。私どもは、創業70年のイタリアのクルーズ会社ですが、他社に先駆け、2006年に初めてアジアに進出し、日本、中国、台湾、韓国でビジネスを展開しています。

日本からのクルーズに関しては2011年からで、中国発着のクルーズを福岡から乗船するという形でスタートし、2013年からは、主に日本の旅行会社がチャーターするクルーズを行ってきました。

今、日本では初めてとなる舞鶴、福岡、金沢での複数港乗下船を試みました。乗船比率は、舞鶴22%、福岡33%、金沢45%でしたが、関西エリア、京阪神地区での認知度の向上に努め、舞鶴の乗船比率が約30%を超えるようにしていこうと考えています。

欧米では、家から港まで車で来てクルーズに乗るというコンセプトが定着をしています。私どもは、このドライブ&クルーズというコンセプトを、今年初めて日本で発表したところ、非常に大きな反響がありました。今年、舞鶴市と京都府において、第3埠頭に無料の駐車場を御用意いただきました。来年は、四国や広島、名古屋など中部圏からも車で舞鶴へ来ていただくお客様を増やしていきたいと考えております。

4. クルーズ産業の発展のために

○篠原教授 お三方のお話を聞かれて、山口さん、コメントをお願いいたします。

○山口氏 クルーズ産業が、日本で健全に成長するためには、インバウンドとともに、日本人のクルーズ船客が増えることが何より大事だと思います。私が会長を務めております一般社団法人「日本外航海客船協会」でも、宣伝不足をカバーし、クルージング普及のために、服装や船酔いなどについて漫画を使った、わかりやすいパンフレットを作っておりますが、皆さんの周囲の方にもぜひ船に乗ってみることをお勧めいただければありがたいと思います。

○篠原教授 ありがとうございます。

最後に市長の御意見を伺いたいと思います。

○多々見市長 舞鶴にクルーズ船が来るようになって4年ですが、ある意味まだ十分な熟練度に達してない状況であろうかと思っています。何をすればお客さんが来てくれ、

消費してくれるのか、そのあたりを皆さんとともに考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○篠原教授 ありがとうございました。

私たち福知山公立大学でも研究プロジェクトを来年も引き続いてやるつもりであります。

本日は、どうもありがとうございました。

(以上)

パネリスト（左から酒井 敦史 氏、多々見 良三 舞鶴市長）



パネリスト 糸川 雄介 氏



第7回
京丹後市

地域のための福知山公立大学に期待するもの
～福知山公立大学を使いこなすために～

……福知山公立大学開学記念連続講演会 in 京丹後市……

12月25日(日) 10:00～12:00

基調
講演

地域資源は足元に埋まっている

講師

高野 誠 鮮 氏 (元羽咋市職員、総務省地域力創造アドバイザー)

入場料無料
定員250名

高野 誠 鮮

Jyosen Takano

元羽咋市職員、総務省地域力創造アドバイザー

プロフィール

1955年 石川県羽咋市太田町生まれ

〔歴任〕元地方公務員(羽咋市文化財室長 室長 平成28年3月定年退職)
金沢大学非常勤講師(平成6年～平成18年) 法政大学エクステンション講座、
早稲田大学等の非常勤講座等を担当。(平成21年、平成22年)

〔経歴〕昭和59年 羽咋市勤務(臨時職員) 平成3年、任用委員会で吏員採用

昭和59年 「UFOでまちづくり」を羽咋市で勝手に開始

平成 6年 TOYP大賞受賞(石川)

平成13年 毎日新聞コラムで「スーパー公務員」と立川志の輔師匠が紹介

平成14年 「Time誌」で活動が特集される。

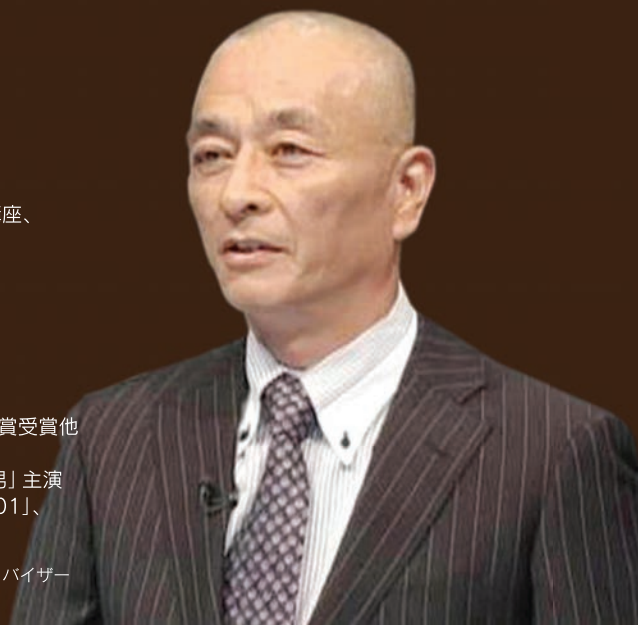
平成20年 増田総務大臣委嘱による総務省地域創造アドバイザーとなる。

平成25年 田村明まちづくり大賞受賞 平成27年11月立正大学モラリス賞受賞他

〔特番特集〕

TBS系列連続ドラマ「ナポレオンの村」(原案/著書「ローマ法王に米を食べさせた男」主演
唐沢寿明)のモデルとなる。TBS「夢の扉」(2011、2015)、フジテレビ「報道2001」、
日テレ「世界一受けたい授業」、NHK「ホリデーニッポン」その他

日蓮宗 本證山 妙法寺 第四十一世住職・日蓮宗 妙成寺 統括顧問・総務省 大臣委嘱地域力創造アドバイザー
地方創生アドバイザー(富山県氷見市に outward)・立正大学客員教授/新潟経営大学特別客員教授



福知山公立大学開学記念鼎談



平野 真
福知山公立大学教授

高野 誠 鮮

総務省地域力創造アドバイザー



三崎 政 直
京丹後市長



早稲田大学理工学部応用物理学科卒業、
理学修士、博士(工学、電子工学専攻、早稲田大学)、
MBA(米国ペンシルバニア大学)、
博士(学術、国際関係学専攻、早稲田大学)。
NTT先端技術総合研究所、NTT エレクトロニクス、
NEC America Inc. (米国駐在)、高知工科大学、
芝浦工業大学を経て福知山公立大学に奉職。
半導体の研究者から、社内ベンチャー事業を経て、
ビジネスそして社会科学の分野にシフト。

昭和 27 年 3 月 京丹後市生まれ
昭和 42 年 3 月 大宮中学校卒業
昭和 45 年 3 月 峰山高校卒業
昭和 49 年 3 月 大阪商業大学商経学部卒業
～平成 28 年 4 月 三崎有限会社 代表取締役
(公職)
平成 11 年 4 月～平成 16 年 3 月 大宮町議会議員
平成 20 年 5 月～平成 28 年 2 月 京丹後市議会議員
平成 26 年 5 月～平成 28 年 2 月 京丹後市議会議長



会場 アグリセンター大宮
京都府京丹後市大宮町口大野228-1 P有り

お問合せ
福知山公立大学 北近畿地域連携センター

☎ 0773-24-7151 〒620-0886 京都府福知山市字堀 3370
FAX.0773-24-7170 mail:regional@fukuchiyama.ac.jp

■共催/福知山公立大学・京丹後市・京都府北部地域連携都市圏推進協議会
■後援/京都府



開学記念連続講演会（京丹後市）

地域資源は足元に埋まっている

日時：平成28年12月25日

場所：アグリセンター大宮

講演（要約）

1. 疲弊した農村集落

○高野氏　御紹介いただきました、高野といいます。

私は、今年3月、定年退職しましたが、10年程前、富山県との県境にある石川県羽咋市神子原町という過疎限界集落を何とかしなさいと命じられて、わずか60万円余の予算で村起こしに取り組んだんです。村は、昭和40年代初めには1,000人超でしたが、私が命令を受けたときには人口は半減。なぜ山の農村集落が疲弊するのか。原因は簡単、お金にならないんです。当時、サラリーマンの年収は、435万円ぐらい。この村の収入はわずか1世帯87万円。田畑を守られなくなった人達は、60キロほど離れた金沢へ出ていくんです。残るのはお年寄り。夫婦の一方が亡くなると、息子や娘が迎えに来る。この循環です。平成元年には小学校もなくなった。神子原地区の一番奥、菅池では、18年間子どもが生まれていない。これが続いていたんです。

農村集落の最大の欠点は、自分で作ったものに希望小売価格つけられないことです。米価も毎年下がる。これを離脱するには、村でとれる農作物を全て自らが希望小売価格で売ればいい。農協に出していたのもやめることです。私は農協の西村組合長のところに相談に行ったんです。

高野氏「組合長、農協って最近変わってますよね。」

西村組合長「若い職員は片仮名でジェイエイと呼ぶよ。」

高野氏「いや、そうじゃなくて、農が狂うと書いて農狂と言いませんか。」

西村組合長「ワレ、俺に喧嘩売りにきたのか。」

高野氏「いや、喧嘩じゃなくて現実を見てもらいたいんです。神子原で農業してたら 87 万、農協の職員になったら途端に 500 万、600 万です。私だったら農業捨てて農協の職員になります。米価も毎年下がってますよね。皆さんの給料も一緒になって下がるんですか。」

西村組合長はカンカンで、「こんな失礼な職員は二度と農協によこすな」と市長室に電話され、私は市長からこっぴどく怒られました。もっとも、この西村組合長、2 年後には私の最大の味方になっていただいたんですが。

一方、村の人達には、生産から流通・加工・販売まで自分達でやり、自分達作ったものに希望小売価格をつけて売りましょう、そのための会社をつくりましょうと呼びかけ、説明会を開きましたが、賛成したのは、169 世帯中 3 世帯だけ。経験ありませんから失敗の連続でした。でも、成功するまで失敗すればいいという気持ちで頑張りました。

結論から先に言います。思った以上に年月はかかりましたけども、限界集落率 54 % を何とか下げることができました。1 人の月収が 15 万円、夫婦で 30 万円を超えて、読売新聞の北陸版に、月収が年金より多くなったと特集されました。平成 21 年の段階で、地区の直売所での生産物や加工品の売り上げが、年間 8,000 万円、今、1 億円を超えています。U ターン組が 8 名います。他県からの移住者が 13 家族 39 名暮らしておいでです。岐阜県からの移住者で、農家カフェ・レストランをしている夫婦に赤ちゃんが生まれました。この地区では 18 年ぶりの赤ちゃん誕生です。

過疎の村は、がりがりになった手のようなもの。栄養が乏しいから動かなくなり痩せていく。痛くてもいいからリハビリ運動をしようと思いました。痩せた細胞、つまり過疎の村に住んでる人達に直接栄養を取り込むために、アメリカ中央情報局が 1950 年代に作ったゲリラ戦略を参考に、私、3 つの戦略、つまりメディア戦略、ブランド化の戦略、交流戦略を作りました。

2. きっかけはローマ法王への手紙

地元で採れる品質の高い無名の農作物をブランド化するためにどうしたか。まず、宮内庁にお米の売り込みに出向きました。米の国、アメリカでも食べてもらおうとアメリカ大統領にも直送しました。これらはうまくいかなかったが、ローマ法王に手紙を出したのがきっかけで、東京のバチカン大使館が、私たちが持参した45キロのお米をローマ法王への献上品として送り届けてくれたんです。それが報道されると、早速デパートから「ローマ法王に送ったお米ないの」と電話が入りました。向こうが頭を下げてきたら値段はこちらの言いなりです。

オーナー制度をやったときは、外国のメディアを活用しました。最初、国内には一切報道をせず、APやAFP、ロイターなどで、しつこくやったんです。イギリスのガーディアンという新聞も取り上げ、メイソンさんという夫妻がオーナーになると手を挙げてくれました。日本人は、身近な人のやることは過小評価するけれど、外国人がというと、いきなり手のひらを返すんです。おかしかったのは、岐阜県の農家まで動いてきちゃったんです。オーナー費用は、玄米40キロで3万円。つまり、農家は、1等米、2等米を問わず玄米40キロを渡すだけで、3万円いただけるんです。60キロの1等米の玄米を農協に出しても1万3,000円しかもらえなかった当時です。

空き家と農地をセットにした都市住民の移住対策でも、試験制度にして、この人なら来てもらいたいという人を村の人が審査して選ぶんです。「お願いですからうちの村に来てください」、「お金あげるから来てください」では長続きしません。村の人が必要なのは、お客さんではなくて、一緒になって草刈り作業や、村祭りをやってくれる人なんです。大学生が来て泊まれる「烏帽子親農家制度」というのを始めたら、お酒が強い女子大生が来たりして、村が賑やかになりました。

今、農薬も肥料も除草剤も使わない農法で全ての農作物を作ろうということをやり出しました。指導してるのは農協ですから、敵じゃなくて今や最大の味方なんです。

私が村おこしのために予算要求した60万円の中身は、3回の東京の往復の旅費とバスの借り上げ費用だけです。

私の話は、これからが面白くなるんですけど、時間が過ぎました。

御清聴、ありがとうございました。

(以上)

講演会 講師 高野 誠鮮 氏



会場の様子



開学記念連続講演会（京丹後市）

地域資源は足元に埋まっている

日時：平成28年12月25日

場所：アグリセンター大宮

鼎 談（要約）

○平野教授 京丹後市の三崎市長、高野様、そして私とで話を進めさせていただきます。まず、京丹後市の魅力について三崎市長からお話をお願いします。

1. 京丹後市の魅力

○三崎市長 京丹後市は、人口5万5,000人、高齢化率は35.3%です。2020年東京オリンピック・パラリンピックのカヌー競技のホストタウンにも指定されており、日本海側には、丹後松島や琴引浜など景勝地があり、景観に恵まれています。食では、間人ガニや久美浜湾のカキ、ジビエ、それに丹後産コシヒカリをはじめ、京野菜、メロン、梨、ブドウなど海山の幸が豊富です。日本酒の地酒のメーカーが5蔵もあります。また、長寿のまちとしても全国的にトップクラスで、ギネスで認定登録をされた116歳の方を筆頭に、平成28年11月1日現在で100歳以上の高齢者が75人おられます。40余りの泉源があり、旅館・民宿が約200軒、市民や観光客で賑わいをいただいています。日本海最大級の前方後円墳が2基存在しており、古い歴史のまちでもあります。農業、漁業のお祭りも各地で盛んに催されています。

2. 地域意識を変えるために必要なこと

○平野教授 高野さんの大変面白いお話について、市長の御感想を伺います。

○三崎市長 行政には頼らないことが、地域の意識を変えていく根本だとお聞きしました。それについて、参考になる御意見があればお聞かせいただきたい。

○高野氏　私、神子原の奥にある菅池というところは、すごいなと思いました。なぜかという、例えば、雪が降ると平野部では「うちの前に雪が積もったから早く除雪しろ」と、すぐ役所にクレームが来るんです。でも、菅池では、自分達でさっさと除雪します。県道の両脇の草刈りも集落の人が出てきて、自分達でするんです。「県庁から補助金もらってるんですか。」と聞いたら、「何をばかなことを言うんだ。」って怒られたんです。「俺達のために、こんな県道を造ってくれたんだから、俺達がこの道路を管理するんだ。」と言って、集落全体でやってるんです。補助金や支援がないと何もしないというのは、私は異常だと思っています。

3. 地域資源は足元に埋まっている

○平野教授　先ほどの市長のお話について、高野様の御感想を聞かせてください。

○高野氏　京丹後ってものすごくいい地域資源で溢れ返ってる場所なんですね。あとは、そこをどう生かしていくか、どう上手く活用していくかだと思います。

○平野教授　私も京丹後は資源が豊かだと思いました。私は、国内外の各地を取材しておりますが、資源に恵まれなくても工夫しているところも多々見てきました。その一例が、中国内陸部の成都郊外の5つの金の花という集落です。ここは土壌が酸性で農作物もできず非常に貧しいところでしたが、酸性の土壌でも花だけは育つ。ここに着眼した30代の女性村長さんが、アメリカの企業を呼び込んで、土地を貸して花を作らせました。そして、村長さんは、企業から得た土地使用料で、農家のおばあさんとかおじいさんをビジネススクールに行かせます。経営を勉強して村へ帰ってきたおばあさんやおじいさんが、アメリカの企業が作った花畑を見せる観光ツアーというのを企画し、それが観光ビジネスに発展して村が豊かになったという例です。こういうケースは他にもたくさん見聞しました。

○高野氏　私もそういう例は見聞しました。知恵さえあれば、やりたいものはほとんど解決していくんじゃないかなと楽観的に構考えています。

4. 福知山公立大学に望むこと

○平野教授 最後に、4月にスタートした私どもの大学に望むことなどありましたら一言お願いします。

○高野氏 私、今年から東京大学でもちょっと教えることになりましたが、不思議だなと思ったことは、真っ先に私にぶつけられた質問が、「どうしたら嫌われない公務員になれるんですか」だったことです。嫌われることを覚悟していないんです。正しいことをやろうとすれば嫌われることもあるんです。でも、その覚悟がない。大学では、「知」、つまり学ぶだけでなく、「識」をつくってほしいんです。識というのは五体を使って動いていくことなんです。例えばスノーボードの乗り方を教えるだけじゃなくて、本当にスノーボードに乗せてほしい。福知山公立大学の卒業生達は、社会ですぐ実践できるというくらいまでスキルアップしてほしいと思うんです。そうすると他の大学との差異ができます。

○三崎市長 北近畿で本格的な4年制大学ということで期待しております。地域をフィールドとして地域のことをよく知っていただいて、この地にまた帰ってきていただく。そのことが我々が福知山公立大学に非常に期待をしているところでございまして、できるだけ協力をさせていただきたいと思います。常に連携をしながらそれぞれの町の事情に応じた教育、そして先ほど高野先生が仰いました「識」の部分を我々のところで担わせていただきたいと思います。と思っています。

○平野教授 ありがとうございます。私ども、そんな立派な校舎もございませんし、本当に日本一小さいぐらいの大学なんですが、人の力で立ち上がっていきたいと思っていますので、今後とも御支援、御鞭撻、よろしくお願いいたします。

(以上)

鼎談の様子



鼎談（左から高野 誠鮮 氏、三崎 政直 京丹後市長）

